



タンブンする先生と生徒 ↑
 ↘お坊さんの説教を聞く先生と生徒
 ←

タンブンから始まるタイの新年

(タイ・7期) 加藤香須美

「タンブン」とは、徳を積むこと、善行を行うことです。お寺をお参りすること、お坊さんのお説教を聞くこと、貧しい人に施すこと、そして出家もタンブンです。タイは90%が仏教徒です。徳をたくさん積むと幸せになると考えられています。

学校は1月2日から始まりました。生徒は半分くらいしか来ません。そして、

3日は学校の前のお寺、ワット・スタットでタンブンすることから始まります。先生、生徒全員が出席して境内に集まりお祈りします。朝食をいただき、お守り仏像もいただきました。



↑ 無料の朝食がふるまわれる。カオ・トンと揚げパン。

タンブンしていただく
 小さな仏像 ↗



お寺でタンブンした後は、学校に戻ってニューイヤーパーティーです。校庭に集まり、学校が用意したプレゼントが当たるワクワクしながら過ごします。生徒によるパフォーマンスも繰り広げられます。お昼からは各クラス、ホームルームでランチを食べてプレゼント交換会をします。夕方 5 時ごろからは先生方のパーティーです。テーマは「花」なので、みなさん花柄の服を着ています。ステージではカラオケ、演劇、ダンスなどこれまた楽しいパフォーマンスが。そしてステージ前にはプレゼントが用意され、パフォーマンスの合間にくじ引き大会。現金や貴金属、高額商品の部では、先生方も大はしゃぎで楽しめます。会場は学校の会議室と呼ばれる講堂のようなところ。ケータリングでタイ料理が運ばれてきます。

👉 よく見てください。今年タイは 2563 年。

未来に行ったわけじゃありません。

タイは仏歴なんですよ。

生徒たちのパフォーマンス
うしろは
くじの景品

- * タイは仏歴 2563 年
- * 夕方からは先生方のパーティー
- * 各ホームルームでパーティー

サワッディー・ピー・マイ♡

